

臨地実習 看護技術到達度チェックリスト

教員サイン

I : 看護師・教員の指導を受け、その後、単独で実施できる  
 II : 看護師・教員の同席のもと、一部援助を実施できる  
 III : 見学 0 : 学内演習でできる

技術分類	技術項目	技術細目	卒業時到達レベル	教員サイン											卒業時自己チェック	
				基礎Ⅰ	基礎Ⅱ	急性期	慢性期	老年	精神	小児	母性	統合				
環境調整技術	環境整備	一般病床	I													
	ベッドメイキング	空床状態	I													
		離床患者	I													
臥床患者		II														
食事援助技術	食事介助	臥床患者	I													
		上肢機能障害	I													
		視覚障害	I													
		摂食・嚥下障害	II													
		褥婦の授乳介助	II													
		新生児の授乳介助	II													
		新生児の哺乳	III													
		乳幼児の食事援助	II													
	経管栄養法	経鼻経管栄養法の胃管挿入	III													
		経鼻経管栄養法の栄養物注入・管理	II													
		胃瘻の栄養物の注入・管理	II													
	経静脈栄養法		II or III													
	摂食・嚥下訓練			II or III												
食生活支援			I or II													
排泄援助技術	自然排尿・排便	トイレ	II													
		ポータブルトイレ	II													
		床上排泄	II													
		おむつ	II													
		失禁ケア(おむつの選択、アセスメント、骨盤底筋群体操など)	II													
		新生児のおむつ交換	II													
		導尿		III												
	排便を促す技術	一時的導尿	III													
		膀胱留置カテーテル挿入	III													
		膀胱留置カテーテル管理	II													
		便秘改善ケア	I or II													
		下剤	II													
	ストーマ	グリセリン浣腸	II or III													
坐薬		II														
摘便		II														
活	体位変換	消化管ストーマ	II													
		尿路ストーマ	II													
私	自力体動が困難な患者	I														

技術分類	技術項目	技術細目	卒業 時 到達 レベル	基礎 Ⅰ	基礎 Ⅱ	急性 期	慢性 期	老年	精神	小児	母性	統合	卒業 時 自己 チェック	
勤・ 休息 援助 技術		治療状況(禁止肢位等)にある人	Ⅱ											
	歩行介助	自力歩行		I or Ⅱ										
		歩行器		I or Ⅱ										
		杖歩行		I or Ⅱ										
		視覚障害		I or Ⅱ										
	車椅子移乗	全介助(廃用萎縮、衰弱等)		Ⅱ										
		残存機能を生かした自立援助(麻痺)		I or Ⅱ										
		福祉用具の活用(リフト、スライダ等)		Ⅲ										
	車椅子移送			I										
	ストレッチャー移乗			Ⅱ										
	ストレッチャー移送			Ⅱ										
	抱っこ移送	新生児・乳児		Ⅱ										
	廃用症候群予防	自動・他動運動		I										
		関節可動域訓練		I										
	ADL評価	ADL、IADL評価		Ⅱ										
	アクティビティケア	レクリエーション活動など		I										
	遊び・学習の援助	小児・学童		I										
	安静保持・体動制限時の援助			I										
				I										
	ポジショニング			I										
	産後回復への援助	産褥体操		Ⅱ										
	睡眠・覚醒の援助	入眠・睡眠を促す援助		I										
覚醒を促す援助			I											
清潔・ 衣生活 援助 技術	入浴・シャワー浴	入浴・シャワー浴介助	Ⅱ											
		機械浴	Ⅱ											
	沐浴	沐浴、臍の手当て		Ⅱ										
	清拭			I or Ⅱ										
				I or Ⅱ										
	洗髪	ケリーパッド		I or Ⅱ										
		洗髪車		I or Ⅱ										
		洗髪台		I or Ⅱ										
		ドライシャンプー		I										
	部分浴	手浴		I										
		足浴		I										
	陰部洗浄	膀胱留置カテーテルなし		I or Ⅱ										
		膀胱留置カテーテルあり		I or Ⅱ										
	整容	整容		I										
		ひげそり		I or Ⅱ										
		爪切り		I or Ⅱ										
	口腔ケア	歯磨き		I or Ⅱ										
		口腔ケア		I or Ⅱ										
		義歯		I or Ⅱ										
	寝衣交換	点滴・チューブ類の留置なし		I										
		点滴・チューブ類の留置あり		Ⅱ										
		麻痺あり		I or Ⅱ										
		パジャマ		I										
呼吸・	酸素吸入法	中央配管	Ⅱ											
		酸素ボンベ	Ⅱ											

技術分類	技術項目	技術細目	卒業 時 到達 レベル	基礎	基礎	急性	慢性	老年	精神	小児	母性	統合	卒業 時 自己 チェック	
				I	II	期	期							
循環を整える技術		鼻カニューレ	II											
		マスク	II											
		在宅酸素療法	II											
	吸引	口腔・鼻腔内吸引	II											
		気管内吸引	II											
	持続吸引	低圧持続吸引(胸腔ドレーン)	II											
	排たんケア	体位ドレナージ	I or II											
		スクイーミング	I or II											
		ハフィング	I or II											
	吸入	ジェットネブライザー	II											
		超音波ネブライザー	II											
	人工呼吸器		III											
	術前呼吸訓練	トリフロー、腹式呼吸、排痰訓練、咳嗽、など	I											
	末梢循環促進ケア	弾性ストッキング	I or II											
		間欠的空気圧迫装置	I or II											
部分浴・温罨法・マッサージなど		I or II												
体温調節		I												
創傷管理技術	創傷処置	創消毒・創洗浄	II or III											
		創保護	II or III											
		包帯法	II or III											
		ドレーン管理	II or III											
		熱傷処置	II or III											
	骨・関節・筋の固定	直達牽引	II or III											
		介達牽引	II or III											
		ギプス固定	II or III											
		三角巾	II or III											
	褥瘡予防・処置	体圧分散	I or II											
		体位の工夫	I or II											
		栄養状態管理	I or II											
		スキンケア	I or II											
	与薬・誤薬防止の技術	経口与薬	K <sub>2</sub> シロップの投与	III										
経皮・外用薬		吸入	II or III											
		点眼・点入	II or III											
		点鼻	II or III											
		点耳	II or III											
		皮膚貼付	II or III											
皮膚塗布	II or III													
直腸内与薬		III												

技術分類	技術項目	技術細目	卒業 時 到達 レベル	基礎	基礎	急性	慢性	老年	精神	小児	母性	統合	卒業 時 自己 チェック
				I	II	期	期						
	皮内注射		III										
	皮下注射		III										
	筋肉内注射		III										
	静脈内注射	末梢静脈確保	III										
		点滴静脈内注射	II or III										
	中心静脈内注射	CVC	II or III										
		CVポート	II or III										
	ワンシヨット	直接静脈に穿刺の場合	III										
		側管、留置針からの場合	III										
	留置カテーテルの ロック	ヘパリンロック、生食ロック	III										
	輸液ポンプ		II or III										
	シリンジポンプ		II or III										
	インスリン製剤		III										
抗菌薬(抗生物質)		III											
抗がん剤		III											
向精神薬		III											
麻薬		III											
輸血		III											
薬物療法支援・指導		II or III											
救命 救急 処置	救急カートの整備 ・点検	格納されている医療器具・薬剤などの 点検	I										
	緊急時の行動	救急患者に対する基本的な観察 (意識・呼吸・循環)	I										
		トリアージ(緊急度・重症度)	III										
		チームメンバーへの応援要請	I										
	一次救命処置	応援要請	I										
		気道確保	I										
人工呼吸(バッグマスクの使用を含む)		I											
閉鎖式心マッサージ		I											
AED(自動体外式除細動器)の取扱い		I											

技術分類	技術項目	技術細目	卒業時到達レベル	基礎	基礎	急性	慢性	老年	精神	小児	母性	統合	卒業時自己チェック	
				I	II	期	期							
	二次救命処置	気管内挿管の準備・介助	III											
		薬物療法を行う患者の観察	III											
		除細動器の管理	III											
		除細動実施の介助	III											
		除細動器を用いた一連の心肺蘇生法	III											
		経過中の記録	III											
	止血	出血患者の観察	II											
		直接圧迫止血法	II or III											
		テープ固定	III											
		創縫合の介助	III											
	洗浄	胃洗浄実施時の援助	III											
	フィジカルアセスメント	バイタルサインの測定	体温測定	I										
脈拍(数、リズム、強さ)			I											
呼吸(数、リズム、深さ)			I											
血圧測定			I											
意識レベル(JCS、GCS)			I											
せん妄			II or III											
身体計測		身長測定	I											
		体重測定	I											
		腹囲測定	I											
		新生児の身体計測	II											
		アプガースコア採点	III											
		小児の身体計測	I or II											
		妊婦の腹囲・子宮底測定	I											
呼吸系のフィジカルアセスメント		問診	I											
		視診(呼吸状態、胸郭の形状、チアノーゼ、ばち状指の有無等)	I											
		呼吸音の聴診	I											
循環系のフィジカルアセスメント		問診	I											
		視診(右頸静脈等)	I											
		末梢冷感の触診	I											
		浮腫の触診	I											
		動脈の触知	I											
		心尖拍動の触診	I											
		心音の聴診	I or II											
腹部・消化系のフィジカルアセスメント		問診	I											
	視診	I												
	腸蠕動音の聴診	I												
	腹部全体の打診	I												
	腹部全体の浅い触診	I												
	子宮底の触診(褥婦)	II												
筋骨格系のフィジカルアセスメント	問診	I												

技術分類	技術項目	技術細目	卒業 時 到達 レベル	基礎	基礎	急性	慢性	老年	精神	小児	母性	統合	卒業 時 自己 チェック	
				I	II	期	期							
	筋骨系のフィジカルアセスメント	脊柱・関節・筋肉の視診	I											
		関節・筋肉の触診	I											
		関節可動域の測定	III											
	感覚系・神経系のフィジカルアセスメント	問診	I											
		対光反射	I											
		表在知覚	I or II											
		認知機能評価	I or II											
	頭頸部	頭蓋、頭皮、頭髪の視診	I											
		産瘤・頭血腫の視診・触診	II											
	眼・耳・鼻・口腔	外眼部の視診	I											
		外耳の視診	I											
		外鼻の視診	I											
		口腔・咽頭の視診	I											
	乳房	乳房・腋窩リンパ節の触診	I or II											
		乳頭・乳輪の触診	I or II											
		乳房の自己検診	I or II											
		褥婦の乳房・乳頭・乳輪の視診・触診	II											
	陰部	外陰部・肛門の視診(褥婦)	III											
症状・生体機能管理技術	生体機能アセスメント	静脈血中酸素飽和度(パルスオキシメータ)	I											
		心電図モニター	II											
		12誘導心電図	II											
	検体検査	シリンジでの静脈血採血	II or III											
		真空管での静脈血採血	II or III											
		血液培養検査	III											
		簡易血糖測定	II											
		動脈血採血の介助	II or III											
		随時尿の採取	II											
		24時間蓄尿法	II											
		尿細菌検査	II or III											
		尿試験紙検査法	II											
		便培養検査	II or III											
	痰培養検査	II or III												
	生体検査 (説明・介助・観察)	単純X線撮影(ポータルも含む)	II or III											
		上部消化管X線検査	II or III											
		下部消化管X線検査	II or III											
		コンピュータ断層撮影(CT) (造影剤使用時を含む)	II or III											
		磁気共鳴画像撮影(MRI) (造影剤使用時を含む)	II or III											
		超音波検査	II or III											
核医学検査		II or III												
肺機能検査		II or III												
内視鏡検査: 上部消化管		II or III												
内視鏡検査: 下部消化管		II or III												
心臓カテーテル検査・治療	II or III													

技術分類	技術項目	技術細目	卒業 時 到達 レベル	基礎	基礎	急性	慢性	老年	精神	小児	母性	統合	卒業 時 自己 チェック	
				I	II	期	期							
	穿刺の介助	胸腔穿刺	III											
		腹腔穿刺	III											
		腰椎穿刺	III											
		骨髄穿刺	III											
	周手術期	術前オリエンテーション(術前指導を含む)	II											
		術前不安の軽減	I											
		術前処置	III											
		術前手洗い	III											
		ガウンテクニック	III											
		手術室の環境整備												
		清潔区域・非清潔区域の確保	II											
		術中の無菌操作	III											
		術中体位の確保・安全安楽	III											
		術中モニタリング: バイタルサインズ、心電図モニター、 IN/OUTバランス(ガーゼカウント含む) など	III											
		麻酔覚醒の促進	III											
		術後患者用ベッドの準備	II											
		術後患者に対するフィジカル ・イグザミネーション	II											
		術後疼痛の緩和	II											
		術後合併症の予防	II											
特殊治療	化学療法	使用薬剤の混合	III											
		薬剤投与前・中・後の観察	II											
		有害反応の観察と緩和	II											
	放射線療法	放射線曝露防止	II											
		外照射	III											
		小線源治療	III											
		有害反応の観察と緩和	II											
	透析療法		III											
	m-ECT(修正型電 気痙攣療法)	筋弛緩状態の確認	II or III											
		麻酔からの覚醒状態の観察	II or III											
感染予防技術	スタンダードプリ コーション	石けんと流水による手洗い (日常的手洗い)	I											
		擦式消毒用アルコール製剤による 手指消毒(衛生学的手洗い)	I											
		個人防護用具(PPE)の装着と外し方	I											
		・手袋	I											
		・ガウン、エプロン	I											
		・マスク	I											
		・フェイスシールド、ゴーグル	I											
医療器材の取り扱い	洗浄	I or II												
	消毒	I or II												
	滅菌	III												

技術分類	技術項目	技術細目	卒業 時 到達 レベル	基礎	基礎	急性	慢性	老年	精神	小児	母性	統合	卒業 時 自己 チェック	
				I	II	期	期							
	無菌操作の基本	滅菌物の取り扱い	II or III											
		・清潔区域の作り方	II or III											
		・滅菌パックの開け方	II or III											
		・消毒用綿球の取り扱い方	II or III											
		・滅菌包みの開け方	II or III											
		・滅菌手袋の装着・外し方	II or III											
	感染性廃棄物の 取り扱い			II or III										
	針刺し防止策	針刺し防止		I										
		針刺し後の対応		II										
安全管理の 技術	チューブ類の事故 防止	固定方法の工夫と維持		II or III										
		事故除去の予防		II or III										
		自己除去の予防		II or III										
	患者誤認防止			I										
	転倒・転落・外傷の 予防	新生児・成人・高齢者		I～III										
		小児の抑制		III										
	療養環境の調整			I～III										
	自傷他害の防止			II or III										
				II or III										
ME機器使用時の 事故防止			III											
				I										
安楽確保の 技術	安楽な体位	ポジショニング		I										
	罨法	冷罨法(氷枕、氷嚢、氷頸、アイスノン)		I										
		温罨法(湯たんぽ、温湿布、ホットパック)		I										
	リラクゼーション			I										
疼痛緩和			I											
死の 看とりの 技術	臨終まぎわの行動	臨終まぎわの患者の身体的変化の観察・記述		II										
		家族や親しい人々が共に過ごす場の調整		II										
	死の診断とその後の 対応	医師の死亡診断への同席		III										
		看護記録への記載		III										
		霊安室や出棺時の礼法		II										
	死後の身体変化の 理解と必要な対処	治療処置・器具・機器の取り外しとその後の処置		III										
エンゼルメイク(全身清拭、洗髪、髭剃り・爪切り、化粧等、着用する衣服、ケアへの参加・宗教上の配慮等)			II											



技術分類	技術項目	技術細目	卒業 時 到達 レベル	基礎	基礎	急性	慢性	老年	精神	小児	母性	統合	卒業 時 自己 チェック	
				I	II	期	期							
	看とりへの態度・姿勢	感染防止・身体の汚染防止	II											
		その人らしい生であるよう、患者の尊厳を心から願い・祈りつづけ、静かにみまもる	I											
		患者が語る死の話題に耳を傾け、傾聴することができる	I											
		自分自身の看護観・死生観が患者との出会いによって、どのような影響を受けたか、言語化できる	I											
		病棟で開催されるデスカンファレンスに出席し、生と死について考えを深めることができる	I											
情動・認知・行動に働きかける援助技術	他職種との協働・連携		II or III											
	退院に向けての援助		II or III											
	生活習慣確立、セルフケア向上の技術	患者がこれまでの生活を振り返り意味づけていくプロセスを支援できる		II or III										
		症状マネジメント統合的アプローチを用いて患者の症状マネジメントを支援できる		II or III										
		セルフケア能力をアセスメントし、セルフケアレベルに応じた支援を計画できる		II or III										
	自立支援の援助技術	障がい受容に対するアセスメントの視点がわかる		II or III										
		機能障がいと患者の生活上の制限をアセスメントできる		II or III										
		患者の回復状況に応じて、代替機能の獲得やセルフコントロールを促す支援が患者・家族と実施できる		II or III										
		患者・家族の満足度や期待される目標の到達度を確認しながら、今後の健康管理に向けて計画の継続性を検討することができる		II or III										
	療養に関する相談	患者が抱える療養上の問題を、患者とともに考えることができる		II or III										
		慢性の病いとともに生きる患者のライフヒストリーを聴くことができる		II or III										
		病いの意味をその人が見つけていくプロセスに沿うことができる		II or III										
		患者が新しい療養法を生活の中に組み入れていくのを支援できる		II or III										
	健康に関する教育	成人教育の基本的な考え方を患者指導の中に組み入れることができる		II or III										
		学習者と家族の学習準備状態のアセスメントができる		II or III										
		対象(個人または集団)にあわせた健康に関する指導を計画できる		II or III										
対象(個人または集団)にあわせて作成した健康に関する指導計画を実施し評価できる			II or III											
行動変容促進に関する技術	健康行動の実行に向けて対象者の変容ステージのアセスメントができる		III											
	変容ステージに応じた介入方法がわかる		III											
		急激な健康破綻をきたした患者・家族のおかれている環境の特殊性をアセスメントできる	III											

技術分類	技術項目	技術細目	卒業時到達レベル	基礎Ⅰ	基礎Ⅱ	急性期	慢性期	老年	精神	小児	母性	統合	卒業時自己チェック	
	危機介入	急激な健康破綻をきたした患者の全身状態、発達課題、基本的ニーズ、生活習慣および自己概念をアセスメントできる	Ⅲ											
		急激な健康破綻をきたした患者と家族を理解し、回復および満足度の高い生活に向けた看護援助の方法がわかる	Ⅲ											
か 人 け る ・ 援 助 技 術 的 環 境 に 働 き	人的・物理的環境調整													
	社会資源の活用	慢性期(老年期)看護を実践する際に活用できる社会資源がわかる	Ⅲ											
		保健医療福祉制度の法的根拠および目的がわかる	Ⅲ											
		保健医療福祉制度におけるサービス内容、利用方法、サービス提供機関がわかる	Ⅲ											
	保健医療福祉制度にかかわる職種とその役割・機能がわかる	Ⅲ												

創価大学看護学部  
看護技術検討委員会（試作）  
2016.3.14